

健幸づくりプロジェクトの推進と令和5年度の取組

現状と課題

① 個別疾患を抽出するシステムの構築

【現状】

電子カルテから脳卒中患者データを抽出する機能を開発（令和元年度）

【課題】

開発したアルゴリズムの効果等の検証

② 健康・医療・介護データを連結する連携基盤の構築

■ 独自の医療等ビッグデータ利活用システム（データベース）の構築・活用

【現状】

- ・ 県内の健康・医療・介護データを集積し、分析を行う「岩手県医療等ビッグデータ利活用システム」を構築（令和元年度）
- ・ 集積データの拡充のための機能強化を実施するとともに、データ集積を開始（令和2年度）
- ・ 基本となる分析に着手（令和3年度）
- ・ 分析結果を市町村等へ提供（令和4年度）

【課題】

- ・ 集積データの充実（最新データの取り込み等）
- ・ 分析テーマの充実

■ ビッグデータ分析体制の充実

【現状】

外部研究機関等（社会保障・人口問題研究所等）と連携した分析を実施

【課題】

外部研究機関との連携体制の強化

③ ビッグデータを活用した健康対策の推進

【現状】

- ・ 西和賀町において、PHR（パーソナル・ヘルス・レコード）を試験的に導入（令和2年度、県補助）し、モニターを対象にPHRの一部機能の試験運用を開始（令和3年度）
- ・ 「岩手県医療等ビッグデータ利活用システム」の分析結果をもとに、ホームページ等を活用し、健康づくりに向けた情報発信を実施（令和4年度）

【課題】

- ・ 健康づくりに向けた県民への情報発信
- ・ PHR導入による効果等の検証

今後の展開

① 個別疾患を抽出するシステムの構築

脳卒中患者データの抽出システムの成果や課題について検証

② 健康・医療・介護データを連結する連携基盤の構築

- 分析結果を踏まえたデータに基づく市町村支援
健康・医療・介護データを連結したデータについて、保険者間での比較や俯瞰的分析を実施し、市町村に提供するなど、データに基づく市町村支援を強化
- 外部機関との連携の推進
研究機関などの外部機関と連携した取組（共同研究等）を実施

③ ビッグデータを活用した健康対策の推進

- 健康づくりに向けた情報発信
医療等ビッグデータの分析結果を踏まえ、健康づくりに向けた情報発信を実施
- PHR導入モデルの実証
西和賀町におけるPHRの実証事業を通じて、PHR導入による効果等を検証

令和5年度の具体的な取組

① 個別疾患を抽出するシステムの構築

- ・ 脳卒中患者データの抽出システムの運用状況について情報収集

② 健康・医療・介護データを連結する連携基盤の構築

- ・ 岩手県医療等ビッグデータ利活用システムを運用。保険者から最新年度のデータを収集し、データを充実（※）
- ・ 保険者間比較や俯瞰的分析の結果を市町村等に提供し、地域の健康課題の「見える化」を進め、市町村が行う健康づくりの取組を支援（※）
- ・ 社会保障・人口問題研究所等と連携した共同研究等を実施（※）

③ ビッグデータを活用した健康対策の推進

- ・ 「岩手県医療等ビッグデータ利活用システム」の分析結果をもとに、ホームページ等を活用し、健康づくりに向けた情報発信を実施（※）
- ・ 西和賀町におけるPHR実証事業を通じて、PHR導入による効果等について情報収集

※ 健幸づくりプロジェクト推進費 100万円〔政プロ費〕により実施

1 健康・医療・介護データを連結する連携基盤の構築

- 健診や医療、介護のレセプトデータなどを匿名化した上で集積する「**岩手県医療等ビッグデータ利活用システム**」を構築(R元～R2)
- 保険者等からデータを収集(R2～)
- 「疾病状況及び受療行動」や「特定健診結果」、「後期高齢者健診結果」など、**基本となる分析に着手**(R3～)
- 研究機関などの外部機関と連携した取組(共同研究等)を推進(R4～)

2 分析結果を踏まえたデータに基づく市町村支援

- 保険者間での比較や俯瞰的分析を実施することにより、**地域の健康課題の「見える化」**を進め、市町村等が行う健康づくりの取組を支援(R4～)

3 健康づくりに向けた情報発信

- 医療等ビッグデータの分析結果を踏まえ、**健康づくりに向けた情報を発信**(R4～)

4 PHR (パーソナル・ヘルス・レコード) のモデル的導入

- 西和賀町においてPHRを試験的に導入(R2、県補助)
- 実証を通じて効果等を検証(R3～)